

この街に  
この人あり

# 「バラの風車」で 笑顔を



佐藤正義さん

今回は、今川一丁目で「幸せを運ぶバラの風車(かざぐるま)」という任意団体を立ち上げ、おり紙を通じて、子どもたちやご高齢者への地域支援活動を続けている佐藤正義(さとう・まさよし)さんにお話を伺いました。

## どのような動機で活動を始められたのですか？

8年程前、すぎなみ地域大学で「地域で子育て支援講座」を受講したのをきっかけに、おり紙を使って子どもと触れ合う活動が何かできないかと考えました。2008年から杉並区の児童館や地域祭りなどで、おり紙ワークショップ活動を始めました。活動したことで、今、子どもたちが大人と関わる遊びを求めていることを痛感しています。



児童館での活動



花のおり紙作品

## 「バラの風車」を始められたのはなぜでしょうか？

友人から教わったバラのおり紙がきっかけです。この素敵なバラにもっと楽しい工夫はできないかと考え、可憐に回る「バラの風車」が誕生しました。ワークショップに参加いただいた皆さまに「バラの風車」をプレゼントして、たくさんの笑顔をいただいています。

この「バラの風車」を使って笑顔の輪を広げていきたい、そんな想いから「幸せを運ぶバラの風車」と名づけました。

## 団体としての活動は？

2012年に団体を立ち上げました。会員は25人です。会員から年会費として2千円をいただき、材料費や運営費として活動を行っています。会員はおり紙を覚えて児童館でおり紙ワークショップに参加したり、配布用のバラを覚えて、自宅で作ってストックし、事務局に持ち寄り、そのバラを風車にして、皆さまへの配布活動を行っています。



バラの風車 カプセル

## これから考えていらっしゃることは？

日本を訪れた外国の人達や、難病を抱えている方への応援(エール)としてプレゼントし、「バラの風車」で笑顔になれる人を増やしていきたいと思っています。発足から3年間の活動で12,000個のバラを配布しています。

連絡先: 佐藤正義 03-3396-0188(Fax兼用)

携帯: 090-8317-8037

mail: satoh@rose-windmill.org